



JOSHUA BREAKSTONE

3/9 (Sat)

p.m. 8:30

ADM. ¥3,800 (1ドリンク付)

Music Inn
CROSSROAD
高松市伊予川3-25 サンビル2F

with

西山 満 (b)

石川 潤二 (ds)

TEL. 3,300

<プロフィール>

1955年7月22日、ニュージャージー州の生まれ。

幼少の頃から、特に二人の姉が音楽面においてジョシュアに影響を与えました。彼は今でも思い出します。“14才の頃、僕はJAZZに出会ったんだ。学校でロック・バンドのギタリスト募集が、プレイし始めるきっかけだった。でも僕に影響を与えた最初のJAZZミュージシャンはチャーリー・パーカーなんだ。”まもなくジョシュはサル・サルバドールからほどきを受け“僕がサルから得たもの: これからの僕のプレイに永く影響を及ぼすだろう。”と語っています。

フロリダ州 サラソタにあるニュー・カレッジでヨーロッパ史を学びました。しかしJAZZへの関心が芽をきざす卒業後、ボストンにあるパークリー・ミュージック・カレッジに学び1975年JAZZ学部の学位を終えました。面白い話があります。“パークリーで、ある先生はこういう弾き方をするんだ・・と教えられたけど、僕は弾けなかった。わかってはいたけれど、試験で僕は先生の教えどおりに演奏しなかった。即刻、その場で僕はF(一落地点)をもらったよ。”と笑いながら話していました。JAZZに対する彼の頑固さが、うかがわれます。

1979年からロード・アイランド音楽院でギターとJAZZを教えると同時にニューヨークで本格的に活動を始めました。JAZZライブの老舗ブルー・ノートでプレイし始めたのもこの頃です。

1983年、ピアニスト バリー・ハリスの協力を得、最初のアルバム“Wonderful”を名門ジャズ・レーベル コンテンポラリーから発表しました。ある日 彼のアパートを訪ねた時、“今日は良いことがあったんだ。今年も一年コンテンツポラリーと契約の更新がきまったんだ。”と嬉しそうに話していました。ジョシュは言います。“音楽を演奏しはじめるとき、最も基本的な要素は即興improvisation とハーモニー形成を学ぶことだよ。でも最終的にはハートから呼びかけることさ。そうすれば、すべて 大丈夫さ。”と・・・・・・“最近 リー・モーガンのような演奏を耳にする機会が少くないね”という問いに、“僕はできるよ!!”とこたえた彼。

リー・モーガンを愛し、むかしのスタイルを守り続けるジョシュ。地味ながらも 繊細で落ち着いた彼の音に耳をかたむけてみませんか。音楽性が多様化する昨今、JAZZに少しでも興味をもって下さることを願って今回のライブを企画しました。

チケット連絡先 CROSSROAD ☎(0878) 33-9009 高松